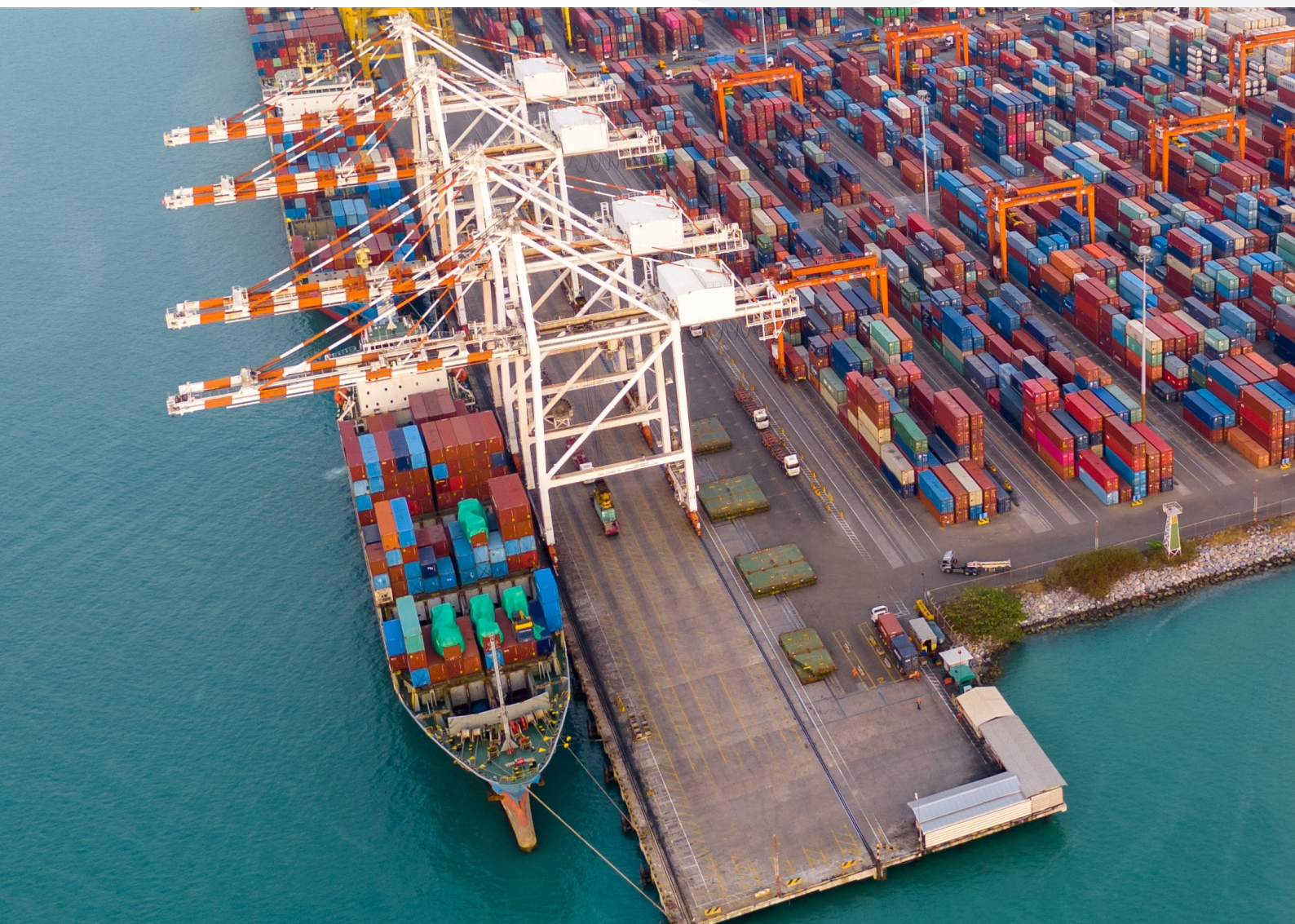


OpenTextのデジタル イノベーションを駆使して 災害耐性と機敏性に優れた 製造ネットワークを構築

AIを活用した分析、クラウド上でのコラボレーション、サプライヤーの迅速な統合を通じて、メーカーが混乱や不確実性を乗り越え、力を発揮できるよう支援します。



「混乱が常態化している時代には、それに適応することが強みとなります」²

災害耐性と機敏性：製造業における新たな課題

製造業を取り巻く環境は、近年、混乱が常態化しています。関税や貿易に関する規制の変更、労働力不足、世界規模のサプライチェーンの混乱など、製造業は今、予期せぬ事態に備える必要があります。企業がリスクを軽減し、管理を強化する手段として、リショアリングやニアショアリングが注目を集めています。しかし、これらの戦略には、初期費用や人材不足といった独自の課題が存在します。一方、輸送ネットワークの問題や異常気象、サイバー攻撃などの影響により、サプライチェーンの混乱は依然として続いています。

デジタル変革はもはや、選択肢ではなく戦略上不可欠なものとなっています。メーカーは、高度な分析、IoT、クラウドベースのコラボレーションへの投資を進めることで、変動の激しい世界情勢の中で業務の効率化を図り、ビジネス継続性を確保し、コンプライアンスの遵守を徹底すべく取り組んでいます。災害耐性に優れた企業とは、変化に迅速に適応し、新しいサプライヤーを迎え入れ、各部署が場所を問わず情報に基づいて適切な判断を下せるような体制を整えることができる企業です。

サプライチェーンの混乱の主な原因トップ5 (2025年)



気候変動/異常気象
洪水、嵐、山火事、
記録的な気温上昇



地政学的リスク
戦争、貿易摩擦、
関税、制裁、
国境問題



サイバー攻撃
ランサムウェア、
データ侵害、
OT/ITの脆弱性



労働力不足
熟練労働者の不足、
ストライキ、
ドライバー不足



**輸送/物流の
ボトルネック**
港の閉鎖、輸送の
遅延、国境での
手続きの遅れ

デジタルアジリティを強化して大きな変化に適応

メーカーは、インフレや規制の不透明感、慢性的な労働力不足といった課題に直面しています。持続可能性と現地生産を促進する動きが、すでに逼迫しているサプライチェーンにさらなる複雑さをもたらしています。企業は、コスト、コンプライアンス、顧客の期待のバランスを取りつつ、不測の事態に耐え、迅速に復旧できるネットワークを構築する必要があります。

1 リストは以下の記事を基に作成されています。

DHL/Everstream Analytics、『[Top 5 supply chain risks in 2025](#)』

Plante Moran、『[2025 top supply chain issues](#)』

NetSuite、『[12 Supply Chain Trends for Businesses to Watch in 2025](#)』

J.S. Held、『[Global Risk Report 2025](#)』

Bridgenext、『[The 2025 Guide to Supply Chain Disruption Management](#)』、2024年

Business Continuity Institute、『[Supply Chain Resilience 10 Year Trend Analysis](#)』、2019年

2 Plante Moran、『[2025 top supply chain issues](#)』



メーカーが将来発生する混乱を予測して、変化に適応し、対応できる力を持つこと。OpenTextは、そんな製造業の未来を思い描いています。AIを活用したプロセス最適化、サプライヤーの迅速なオンボーディング、クラウドベースのコラボレーションを組み合わせることで、メーカーが災害耐性と機敏性に優れたネットワークを構築できるように支援します。

OpenTextを導入することで、メーカーはリアルタイム分析を活用してサプライチェーンのパフォーマンスを監視し、リスクを事前に把握し、インベントリや生産を最適化することができます。オンボーディングとコンプライアンスの自動ワークフローにより、数週間かかっていた新規サプライヤーの統合を数日で完了できるため、調達戦略が変化してもビジネス継続性とコンプライアンスを確保できます。

クラウドベースの情報管理ツールやコラボレーションツールを活用することで、工場内なのか現場なのか、あるいはリモートワークなのかを問わず、チーム間の連携を維持できるようになります。また、最新データに基づいて迅速に意思決定を行うことができます。こうしたアプローチは、業務効率の向上だけでなく顧客やサプライヤーとの関係強化にもつながり、競争の激しい市場でも成長を続け、評判を高めることができます。

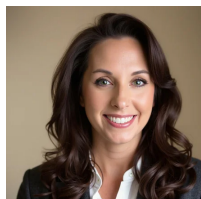
OpenTextのサプライチェーン統合ソリューションを導入することで、3年間で317%の投資収益率(ROI)を達成し、サプライチェーンチームの生産性が30%向上し、年間600万ドルのコスト削減を実現しました。³

メーカーは、OpenTextと提携関係を結ぶことにより、災害耐性、機敏性、効率性の面で目に見える改善を期待できます。企業は以下のことを実現できます。

- **これまで以上に迅速に混乱や変化に対応**：AIを活用したプロセス最適化とリアルタイムの分析により、これまで以上に迅速に対応できます。
- **サプライヤーのオンボーディング期間を短縮**：数週間から数日に短縮できるため、ダウンタイムを最小限に抑え、コンプライアンスを維持できます。
- **グローバルチームを強化**：安全なモバイルアクセスを通じて重要な情報にアクセスできるようにすることで、生産性とコラボレーションの向上につながります。
- **運用コストの削減とサプライチェーンの可視化の向上**：結果として注文処理のスピードが上がり、顧客満足度が向上します。

OpenTextは、情報管理とサプライチェーンのデジタル化に関する豊富な専門知識を生かし、メーカーが将来を見据えたオペレーションを構築できるよう支援します。メーカーは、急速に変化する世界において、ビジネス継続性、コンプライアンス、競争上の優位性を確保することが可能になります。

お問い合わせ



Hilary Johnson

製造業担当グローバルシニアストラテジスト

Hjohnson@opentext.com

 [Hilary Johnson](#)

³ IDC、『[The Business Value of OpenText Supply Chain Integration Solutions](#)』、2023年